

FOOTMARK 図鑑 No.2

お食事エプロン うきうき® シャツエプロン



カラーは6色
 白は冠婚葬祭向けにつくりましたが長年会社勤めでワイシャツを着ていた方には馴染みがあり、普段使いにも人気です。

襟がポイント
 当時は襟つきのエプロンはなかったと記憶しています。洋服に見えるためには襟を付けることは必須でした。上着をはおれば、さらに洋服さが増します。



面ファスナーでサイズ調整が簡単にできます。 ポケットは形状記憶テープで自由に形状を変えられます。 はっ水（水をはじきやすい）生地で通気性が良く乾きやすい。

介護される方がつきたい

商品開発のはじまりは、漠然と「今までとは違うものをつくりたい」という気持ちからでした。それまでもエプロンには注力していましたが、高齢者の方はどうしても外出の機会が減りがちになるという現状から、もっと外に出ていただき、人目を気にすることなく、着けたいと思ってもらえるようなエプロンの開発が私たちの使命になっていました。

お客様の声をもとに改良

発売して11年経ちますが、毎年出展している国際福祉機器展（HCR）では毎回「こんなのあるのね」というお声を聞きます。まだまだ世に知られてはないと感じる場面ではありますが、そのお客様の声の商品改良にもつながっています。実際、冠婚葬祭用のエプロンもふとした声から生まれました。

選んでもらえるエプロンに

今のシニアの方は見た目も気持ちも若いです。そんな方々が普段おしゃれをしていて、いざエプロンが必要になった時に、「これなら付けたいわ」と言ってくださるような商品でありたいと思っています。そのために機能性だけでなくデザイン性にもこだわった商品をこれからも開発していきます。

それまで「介護する側」の利便性、効率を考えた食事用エプロンを多く開発してきたフットマークだったが、2006年頃から「介護される方」の気持ちを考えた商品開発に着手する。その象徴であるのがうきうきシャツエプロン。発売して約11年たった今も、そのコンセプトはブレることなく、現在のフットマーク介護用品の開発の考え方の大きな軸となっている。

介護用品

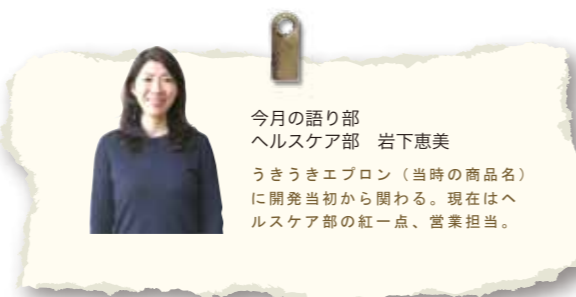
お食事エプロン

すみだモダン

- 生 誕 日** 2006年
- 名前の由来** 介護される方が外出先で「うきうき」とした気持ちで食事ができるようにと願いを込めて。
- アピール** 襟がついているのが最大のポイント。洋服感覚でつかえる食事用エプロン。超はっ水生地を使用しているため、1枚生地で軽い。
- ヒント** 介護される方の気持ちに寄り添った商品開発。外出先ではハンカチなどを代用している人が多く見られた。

うきうきシャツエプロンのあゆみ

- 2006年 初代「うきうきエプロン」**
3枚仕立てのエプロン。歴代商品の中では一番洋服に近い完成度。しかし重いのと乾燥機が使用できないことがネックだった。
- 2008年 リニューアル**
はっ水生地に変えることで軽量で持ち運びのしやすいエプロンに生まれ変わる！インクジェットによる鮮やかなプリントも大きな特徴に。
- 2011年 seisuke88 とのコラボレーション**
京都伝統の和柄紋様を復刻させたデザインで注目のブランドとアクティブシニアに向けた柄も発売。
- 2012年度「すみだモダン」に認証**
東京墨田区が行うブランド認証事業の一つ。墨田区の想いを伝えられる商品や飲食を「すみだモダン」として認証。



今月の語り部
ヘルスケア部 岩下恵美
うきうきエプロン（当時の商品名）に開発当初から関わる。現在はヘルスケア部の紅一点、営業担当。

小岩井健志 Takeshi Koiwai



最近、直属の上司に似てきたと言われます…。

常に「スパヤク」正確に！

101333
ニューツイン



小学校～中学までずっと使っていてとても使いやすかったからです

即強(即強)

部門 経営管理部

入社 2016年

出身地 埼玉県飯能市

趣味 卓球、録画鑑賞、読書

私の健康法 規則正しい生活
平日/起床 5:30 就寝 21:30
休日/起床 6:30 就寝 22:00
平均睡眠時間 7時間

ちなみに家族で僕だけがこの生活スタイルです

FOOTMARKな人々 27人目



僕の好きな食べ物

- うどん**
温かければ何でも良いのですが、強いて言うなら、かき揚げうどんが好きです。祖母がよくつくってくれました。
- 鶏肉の唐揚げ**
昔からの好物です。無条件に好きです。
- デコボン**
果物は全般的に好きなのですが、デコボンが甘くてナンバーワンです！

両国屈指の人気店。また食べたくなる中毒性あり。 うれしい並盛～大盛りすべて同一価格！

「つけ麺屋 ごんろく 両国店」

ラーメン 禁煙 約5分

両国が誇るつけ麺屋さん。ご飯時を攻めると並んで待つこともしばしば。程よい自家製太麺が豚骨魚介系のつけ汁と絡み絶妙なおいしさです。また並盛から大盛りまで同一価格なのがうれしいところ。食後はぜひスープも頼んでみてください。できればそのまま飲むのがおすすめ。ダシがたっぷり効いて何とも言えない味わいです。なおラーメンもありますが、ぜひつけ麺をご賞味ください。



辛味噌つけ麺（小盛）
※小盛はトッピングが1つ無料です



東京都墨田区緑1-28-11 TEL: 03-3846-4311
<https://tabelog.com/tokyo/A1312/A131201/13003718/>

編集後記

最新、すごい子どもたちに出会う機会に恵まれています。小学生とは思えない考えや目標にただ関心するばかりです。日々仕事を通じて様々な出会いがありますが、この時期は採用活動もあつたりと本当に幅広い世代の方からのお話に刺激をいただいています。社内では「うきうきシャツエプロン」の開発秘話を改めてインタビュー。とある新聞でもご紹介いただき、大変多くのお問い合わせをいただきました。お電話口で聞いたお客様の声の音が次の一歩へとつながる、そんな予感がしています。

フットマーク株式会社

広報担当：吉河祐子
Tel: 03-3846-3382
webmaster@footmark.co.jp

※ぜひ感想をお寄せください



フットマーク代表取締役社長：三瓶 芳（さんべ かおる）
 1958年1月27日（昭和33年） 島根県生まれ
 1980年 駒沢大学卒業 2012年 社長就任
 趣味はテニス。好きなお昼ご飯はメロンパン、たまに5本入りのチョコチップスティックパン。料理については正直食べられれば何でも良いのですが、味は断然「醤油」味が好きです。なぜなら「日本人だと感じる」からです。しかし焼き鳥に醤油を付けて食べたら、部下に悲しい目をされました。



KAORUの部屋 6

2018年度採用活動はじまる！

現在、来春入社採用活動を行っています。すでに会社説明会は終了して現在は面接中のみです。昨年に引き続き求人数が増えており、我々企業にとっては非常に逆風の状況ではあるのですが、その中でも当社に興味を持っていただいたことに深く感謝しています。よく言うのは選考は「お見合いの場」であるということです。選考をする企業側に主導権があると思われがちですが、決してそうではないのです。毎年私も会社説明会から社長面接まですべての選考に出席し、学生さん一人ひとりと対話する時間を多くとっています。今年のテーマは「本気で挑戦～まだまだもっともっと～」。変化を恐れず挑戦する気持ちを持った学生さんとの出会いを

楽しみにしています。また求める人物像にふさわしい会社であることを常に我々も意識して行動しなければなりません。

新しい仲間を迎えました

また先日4月3日に入社式を行いました。新入社員3人はこれから学生時代とは比べものにならないほどの多くの人に出会うことになります。多くのご縁は必ず彼らを成長させ、やりがいが生れたり、それが新しい商品や事業につながります。是非勇気をもっていろいろな人と関わりあい、できればその人のお役にたてることをめざしてほしいです。またここにいる仲間と一緒に新しいフットマークづくりに取り組んでいただくことを期待しています。

昨夏、「小さな博物館」にご来館いただいた小さなお客様。それがフットマークの近所に住む庄子大皓くん（当時小学3年生）でした。オリンピックが大好きという庄子くん。夏休みの調べもの学習で「リオデジャネイロ五輪」のことも調べているとのことでした。競泳平泳ぎ 200m で金メダルを獲得した金藤理絵選手の所属企業が墨田区にあると知り、フットマークにも見学に来てくれたのでした。

将来の夢は東京五輪の聖火ランナー！

庄子くん

オリンピックの歴史や聖火リレー、近代オリンピック、古代オリンピック、そして五輪マークのことが分かってよかったです。

そして先日…夏休みの宿題の報告にきてくれました！

オリンピック大事典

大皓くんの名前とかけています

50ページにおよぶ超大作！

オリンピックの起源から記憶に新しいリオ五輪のこと。また2020年東京五輪のことまで網羅されています。

歴代の聖火のトーチも調査済！

庄子くん、とてもうれしいご報告をありがとうございました！！



<http://www.footmark.co.jp/waterheroes/>

水とうきうきは、赤ちゃんからお年寄りまで水を楽しむ人たちの姿を通じて、水の楽しさを共有するコーナーで、専用 WEB サイトにも掲載中。
 主役は水を楽しむ人たち。年齢も、住むところも、これまでの生きざまも違う人たちが、「水」を語ります。日ごと違う自分だけの空間で、泳げるようになるために、健康のために、挑戦するために。一人で、誰かと一緒に。みんなと。幼い頃の思い出、これからの夢。世界中の皆さんから寄せられるたったひとつの物語を伝えていきます。

ぼくにとって一番好きなこと

川島朝陽 Asahi Kawashima

この春から中学1年生 ルネサンス両国所属選手
 小3で初の全国大会出場。小5で200m個人メドレー全国優勝・50m平泳ぎ全国2位・メドレーリレー全国3位。
 今年2月にフリーリレー（ルネサンス両国チーム）短水路日本学童新記録樹立。



好きだから、もっと挑戦したい

ぼくが1番好きなことは水泳です。姉が水泳をやっている楽しそうだったので、家の近くのスイミングクラブに入りました。水泳を始めたときは水に入れるだけでとても嬉しかったです。

小1で育成クラスに上がってから、楽しいだけではなく本格的に練習が始まりました。辛い練習も水泳が好きだったから乗り越えることができました。

小2で初めて合宿に参加して仲間が増えました。ジュニアの選手はみんなジュニアオリンピック（JO）という全国大会を目指すことと知り、ぼくもそれを目標に毎日練習しました。小3の11月にとうとう初めてJOへの切符をつかみました。ぼくは目標をJO出場からJO優勝に変えました。小3で出場した初めてのJOは緊張でうまくいきませんでした。

誰かを喜ばせたい

小4の夏に2回目のJOに出場しました。この時は緊張せず、自分の泳ぎができたのを覚えています。200m個人メドレーでランキング20に入り、コーチと喜びました。

小4の春に3回目のJOに出場しました。ぼくは予選からとても頑張りました。8人が決勝に進めるところ、ぼくは200m個人メドレーでぎりぎりの予選8位で決勝に行くことができました。決勝の前にコーチが「8位はこれ以上順位が落ちることはないから思い切り行っちゃえ」と言われて泳

いだら、予選から3秒以上もタイムが上がり3位になれました。初めて全国大会のメダルを手にして、ぼくはもっと練習を頑張るようにしました。コーチを優勝させてあげたいと思いました。



かけがえのない、ぼくの仲間たち

そして、ぼくにとって、今一緒に練習をしているチームの仲間は最高の友達です。特に、リレーを組んでいるメンバーはライバルだけど認め合える最強のスイマーです。今の4人でリレーを組んだ時から、4人で日本一になると思ってきました。

そしてとうとう、先週（2月25日）4x50m男子フリーリレーで日本学童新記録を樹立しました。17年間破れることがなかった小学生の日本新記録をぼくたちは塗り替えました。

今の目標は3月のJOの舞台で個人種目で決勝に行くこと、それからメドレーリレーでも日本学童新記録を塗り替えること、フリーリレー、メドレーリレー両方で金メダルを取ることです。必ず4人で1番高い表彰台に上ります。



ぼくは将来は日本代表に入りたいと思います。オリンピックでの表彰台を夢見ているし世界新記録も出してみたいです。ぼくにとって水泳は1番好きなことだからです。

川島朝陽